

日本音楽集団1981年度後期定期コンサート・シリーズNo.69

ソロとコンチェルトの夕べ・その一

1982年1月29日(金)午後7時開演

青山タワー・ホール

構成・高橋明邦

——曲目と演奏者——

一、冬の日・パート2より I、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ章 / 長沢勝俊作曲

[笛] 竹井誠 [尺八] 藤崎重康・水谷雅康
[三味線] 蓑田司郎 [琵琶] 田原順子
[箏Ⅰ] 小林恵美子 [箏Ⅱ] 大島菜穂子 [十七絃] 佐藤里美
[打楽器] 石崎信宏
[指揮] 高橋明邦

二、箏協奏曲 / 長沢勝俊作曲

[独奏箏] 花房はるえ
[箏Ⅰ] 木村玲子・小林恵美子 [箏Ⅱ] 内藤洋子・出口裕子
[箏Ⅲ] 松本和美・飛山百合子 [十七絃] 滝田美智子・佐藤里美

——休 憩——

三、竜田の曲 / 三木稔作曲

[二十絃箏独奏] 吉村七重

四、霜夜の砧 / 柴田南雄作曲

[尺八独奏] 三橋貴風

五、尺八協奏曲 / 長沢勝俊作曲

[独奏尺八] 福田輝久
[笛] 藤崎重康 [尺八] 田嶋直士
[三味線] 蓑田司郎 [琵琶] 田原順子
[箏Ⅰ] 木村玲子 [箏Ⅱ] 内藤洋子
[十七絃] 滝田美智子
[打楽器] 黒坂昇・石崎信宏

ごあいさつ

皆様、明けましておめでとうございます。1982年のオープニングは、新春にふさわしい若さあふれる演奏で幕を開けたいと思います。今日、ソロを受け持つ4名は、ほぼ10年前に研究団員として入団、以後研鑽を積み重ね、現在では本団になくてはならない存在となった中堅メンバーです。

尚、〈冬の日〉は現在の研究団員中心のメンバーで演奏いたします。

私共も創立18年目、ここから20周年に向けて、今一つ前進したいと思います。皆様、本年もどうぞよろしくおねがいたします。では、どうぞ、ごゆっくり。

(高橋明邦)

出演ソリストの紹介

花房はるえ

岡山に生まれる。1973年日本音楽集団に入団。本団第5、6次海外公演に参加。79年度本団技能賞、81年度敢闘賞受賞。

1970、72、74年に宮城全国会コンクール入賞。1971、72年に岡山にてリサイタルを行う。砂崎澄江、知子両氏に師事。宮城会師範。NHK邦楽技能者育成会19期卒。

——この〈箏協奏曲〉は、以前砂崎先生のおさらい会で第二箏を弾いたことがあり、その時から、一度ソロを弾いてみたいと心ひそかに思っていました。練習を重ねるにつれ、曲に対するイメージはうれしくなる程、どんどんふくらんできました。私にとって集団に入り、「お琴を弾く」ということから「音楽を楽しむ」ことを教えられたことが一番プラスになっていると思います。本番はそれを充分生かし演奏できれば……と願っております。

吉村七重

東京に生まれる。1972年日本音楽集団に入団。本団の第1、2、3、5、7、8次海外公演に参加。78年本団殊勲賞受賞。72年名韻会奨励賞、79年パンムジーク・フェスティバル現代演奏コンクール合奏部門第一位。野坂恵子二十絃箏エコーの創立(75年)以来のメンバー、現在まで5回の演奏会に出演。77年グループ・四つの個よる「楽」を結成、現在までに6回の演奏会を持ち、81年、No.6において大阪文化祭文化祭賞を受賞。「楽」委嘱作品によるレコードを録音。79年第1回二十絃箏リサイタル。82年6月2日第2回リサイタル予定。野坂操寿・恵子両氏に師事。松の実会師範。名古屋音大邦楽補助員。

——集団に入ってちょうど10年たちました。私の青春のすべてが投入されたと言っても過言ではない様な10年でした。ひたすら走り続けて来た感があります。これからは少し余裕を持って、「生きる」意味をさぐってゆけたらと願っております。

三橋貴風

1950年東京に生まれる。1972年に日本音楽集団に入団。本団第1、2、3、5、7、8次海外公演に参加。77年度本団敢闘賞受賞。

1968年琴古流佐々木操風氏に師事。72年NHK邦楽技能者育成会卒。76年パンムジーク・フェスティバル現代演奏コンクール独奏部門で第一位受賞。グループ・四つの個よる「楽」を結成。77年韓国ソウルにおける青少年国際連合音楽祭に参加。「楽」コンサートを79年から81年までの間に東京と大阪で6回行う。80年第一回リサイタルで昭和55年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。「尺八ゾリステン」結成。81年の大阪におけるNo.6の「楽」コンサートで昭和56年度大阪文化祭奨励賞を受賞。「楽」委嘱作品によるレコードを録音。メキシコで行われた日本現代音楽祭においてリサイタルを行う。

日本三曲協会会員。琴古流操風会尺八師範。横浜に在住。

——今回は、一昨年私のリサイタルの折に委嘱を頂きました曲を演奏させていただきます。「霜夜」は現実の冬の寒気厳しい夜であり、同時に人生の再び春のめぐって来ない最後の冬の厳しさをあらわしています。又、この場合の「砧」は生命のパルスというような意味を持っています。日本音楽集団のコンサートにおいてこの曲を独奏いたしますのは今回が初めてですが、印象に残るコンサートになるように努力するつもりです。

福田輝久

1949年長野県茅野市に生まれる。1973年日本音楽集団に入団。本団の第7次海外公演に参加。79年度本団敢闘賞受賞。

神奈川大学貿易科卒。NHK邦楽技能者育成会18期卒。尺八ゾリステン所属。七孔尺八を宮田耕八朗氏に師事。

——宮田耕八朗氏が演奏した尺八コンチェルトでは、幸いにも私は共演する機会を多く持つことができましたが、そのよい経験を今回の独奏部で生かすことができると思っております。指揮者無しで演奏するという事で、どうなることかと心配をしましたが、若き優秀なる共演者に恵まれ、お互いに触発しつつ練習を重ねてまいりました。若々しい尺八コンチェルトにきつとなることでしょう。

——私は私の喜怒哀楽を一本の尺八に託したい——

日本音楽集団推薦

琴・三絃・十七絃・二十絃

琴光堂和楽器店

〒152 東京都目黒区碑文谷2-19-15

TEL東京03-792-8481 横浜連絡所 045-363-5448

中島 隆